# 福岡 ノマドの道案内

新しい働き方として「ノマド」という言葉が聞かれるようになった。もともと遊牧民を表す英語で、その定住しない生き方から、組織に属さずオフィスを持たない自由な働き方を表すようになった。概念は広く、フリーランスの働き方や企業人の効率的な仕事術も範囲に入る。ここではノマドを自認する人もそうでない人も、仕事の能率向上やビジネスチャンスのきっかけになるかもしれない〝仕事場〟を見ていこう。

右ビズコリはこだわりの内装で、くつろぎとインスピレーションを提供
左蔵書は20万冊以上

## ヒラメキそして交流

ノマドにインターネット環境は不可欠だ。パソコンやスマートフォン(多機能携帯電話)を、ネットにつないで〝サクサク〟作業したい。カフェや駅でのLAN環境は充実してきた。だがじっくり仕事をするには、集中できる環境がそろったベースキャンプが欲しいところ。そこでコワーキングスペース(共有の仕事場)の出番になる。

デザイナーズホテルのようなハイクラスのラウンジを構える「BIZCOLI(ビズコリ)」は、渡辺通の電気ビル共創館内にある。九州経済調査協会(九経調、福岡市中央区)が運営、蔵書は20万冊以上で全国紙や各地方紙のほか、独自のリポートを閲覧できる。情報収集の場としては他を圧倒。またその数だけでなく、テーマ別の棚や図表、模型など立体展示がインスピレーションをかきたててくれる。

利用者は30代が中心。九経調の会員企業の会社員のほか士業関係者も多い。八尋和郎館長は「昼間は調査目的、夜はセミナーや勉強目的の人が多い」と説明する。自習室やラウンジを移りながら、気分を変えて時間を過ごせる。打ち合わせにも使えるので、個人事業主にも便利。九経調ならではの専門的セミナーも貴重だ。

一方、天神の日本銀行福岡支店向かいにあるのが「ノマドクロス」だ。運営するチェックボックス(福岡市中央区)の二宮泰徳社長は「他の施設と比べると利用者の年齢層は高い」と話す。個人事業主や営業担当者が出先の事務所として使うほか漫画家や大学教授が執筆スペースとしても利用しているという。

資格試験の勉強で利用する人も多い。二宮社長を介して、資格を持つ利用者を紹介し、利用者同士が相談できるような交流がある。利用者が主催するセミナーも開いている。ただ「交流ありきではなく、あくまで個人があった上で化学反応があればいい」(二宮社長)とのスタンスだ。

アットホームな雰囲気も持ちながら、集中できる自習室や会議室など個の空間も確保できる。入会金不要で1時間からビジター利用できるのも便利だ。

## 起業&モノをつくる

ノマドと言うと、ソフトウエア開発などデジタル系ビジネスをイメージする人は多い。だが業種は多岐にわたり、そのニーズも一様ではない。

「OnRAMP(オンランプ)」はインキュベーションオフィスを併設した珍しい施設。天神の明治通り沿いにあり、アントレプレナー(起業家)クラブがコンセプト。高速道路の入り口などを意味する「ランプ」にかけて、新人起業家が先輩に追いつく加速車線と位置付けている。投資ファンドが運営に参加しており、資金調達の相談も可能となっている。

ノマドで始めたビジネスが拡大すれば、インキュベーションスペースに居を構えることもできる。賃料は12平方㍍の部屋で月5万円と家賃としては平均的。だが登記ができてポストもある。会議室など設備利用は無料で、敷金礼金が不要な点を考えれば割安だ。

運営会社のドーガン・インベスツメンツ(福岡市中央区)の渡辺麗斗アソシエイトは「フリーランスの人がここで刺激を受けて法人になり、さらに大きく成長して『狭いんです』と言って出て行ってもらえればうれしい」と期待する。

モノづくりでビジネス展開を狙うなら「博多図工室」が実現への近道かもしれない。高砂にある一見すると民家のようなこの施設は、2012年12月にオープンした。今話題の3次元プリンターやレーザーカッターなどを備えており、時間や設備に応じた料金を払えば自由に使える。

「福岡のモノづくりマインドはバラエティーに富んでいる」と運営者の鈴谷瑞樹さん。訪れるのは試作目的の中小企業者、医学部の教授、趣味でフィギュアをつくる人、主婦とさまざま。機材は使い方を指導してもらえて相談にも乗ってもらえるのは安心だ。開業約6カ月間で利用者数は伸びているという。

鈴谷さんは「モノづくりのステップアップの途中に段差をつけた」と力を込める。小規模な「試作の試作」など、気軽にモノをつくれる環境を設けた。パソコン上で設計やデザインはできても、その試作にはロット数や資金の面でハードルが高かったからだ。利用者間の交流を通じた「集合知」も魅力的で、大きな可能性を秘めている施設と言える。

右高速のジャンクションをイメージした、オンランプのロゴ
左共用のリラックススペース

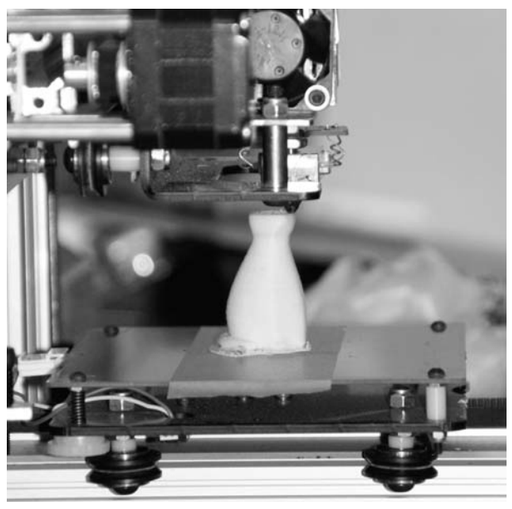
上ノマドクロスでは利用者同士の交流がある
下「化学反応に期待…」と二宮社長

## 都市を出て海へ山へ

ここまで主に福岡市中心部のコワーキングスペースを中心に紹介した。だが都市生活にこだわらない働き方もノマドと定義される。自然豊かな郊外や田園地帯を仕事場にするスタイルだ。

そのような移住を呼びかけている自治体もある。福岡県と筑後地域12市町で構成する筑後田園都市推進評議会は「ちくご移住計画」に取り組んでいる。数カ月間移り住み、土地の良さを実感してもらう。住居や仕事を自治体が用意する。「そもそも個人・小規模事業所(SOHO)をイメージした事業」(福岡県広域地域振興課)で、いずれもネット環境は整備される。13年度は5市町がアーティストやクリエイター、フォトグラファーなどを募集。定員を超える応募があったという。

昔から腕の良い職人は、条件が良い仕事を選んで身一つで渡り歩くというスタイルがあった。ビジネスパーソンも同じで、場所や部署、職業、世代など何かしら移動を繰り返して生きていく。ネットの進化で働く環境が激変した部分はある。だが最後はそれぞれの働く姿勢やスキルがカギになる。ノマドという言葉にこだわりすぎることなく、便利な場所やツールを活用しながら「生きる道」を探していくことに変わりはない。



左民家のようなたたずまいの博多図工室
右国産3次元プリンター

## そもそもノマドって

ノマドワーキングの根底には、企業や組織から解放された自由な働き方への理想がある。通勤ラッシュや残業と無縁で、上司や同僚との面倒な人間関係もない。企業人なら誰しも望んだことがあるような、そういう働き方を体現したものだ。

インターネットも大きなポイント。典型的なのが「スタバ、Mac、スカイプ」の3点セットとされる。つまり無線LANのあるカフェで、モバイルパソコンを広げてテレビ電話で打ち合わせ、というスタイルだ。顧客開拓もソーシャルメディアで自らをブランド化して売り込む。

一方で提供する技術やスキルは必須。フリーランスの一形態とも捉えられ、時に企業に属するより大変なことは多い。にもかかわらず自由なイメージやシェア(共有)の概念だけが先行し、技術も経験もなく「ネットに頼ればなんとかなる」とノマドを名乗る事例も増加。マナーの悪さを含めて、ノマド全体に対する風当たりが強くなった状況もある。

そもそもノマドは思想家ジャック・アタリが提唱した、世界を股にかけて仕事をする未来の上部階層「ハイパーノマド」に源流がある。その後、ネット環境の充実を背景に、場所を問わない仕事法として「ノマド」が使われた。さらに不安定な雇用環境や企業不信、エコライフなど社会的要因が複合し、その意味するところはさらに拡大。言葉自体も定住地を持たずに移動を続けている。


May I support you?

「優秀な人材が欲しい!」そんな時に
☑オフィス系
☑営業系
☑医療系　等
様々な職種に人材派遣および、正社員・契約社員として即戦力になる人材をご紹介します。

「イベントがしたいけど…」そんな時に
☑イベントの企画立案、実施
☑宣伝物の作成
☑会場設営からブース施工
☑MC、スタッフの派遣
☑運営・管理　等
企画・デザイン・施工・運営、展示物の制作、MC・イベントスタッフの手配まで一貫してお任せください。各種広報物の企画・制作も承ります。

「冠婚葬祭って大変そうだけど」そんな時に
☑パーティ
☑婚礼、葬祭
人生の様々な節目のセレモニーを、信頼と安心でご提供します。

ポータルでは人材派遣のスタッフおよびイベントスタッフを募集しています。お気軽にお問い合わせください。

IT'S PORTAL

ポータルは九電工のグループ企業として、社会における人材・イベント・セレモニーに関わるさまざまなニーズをサポートし、総合人材サービス企業として「人間力」を「人に・企業に・社会に」ご提供します。

九電工グループ　PORTAL 株式会社ポータル

人材事業／イベント事業／バンケット事業
0120-017-850　☎092-534-6223
〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目23-30
http://www.portal-inc.co.jp